

12月定例会 12月1日~21日

主な内容

- 特集1 議会報告会・意見交換会…2
- 特集2 学生と考える……………4
- 定例会・議案の内容……………6
- 人事案件・質疑……………7
- 一般質問……………8
- 議会の動き……………15
- 委員会審査……………16
- 審議結果・討論……………17
- 委員会視察……………18
- 写真募集案内・編集後記……………20

都市環境 委員会

開催：10月11日 10時30分～
本島コミュニティセンター
市民参加 23名
テーマ：本島町の暮らし

空き家対策

- 危険な空き家が放置されている。持ち主の連絡先を明示してほしい。

道路整備

- 道にはみ出した枝の処理や白線引きをしてほしい。

イノシシ対策

- 現状を知ってほしい。
- 捕獲を支援してほしい。

旧診療所の活用

- 観光客向けに活用してほしい。

台風被害

- 台風の後始末ができていない建物がある。



保護者のねがい

- 教職員や児童生徒の意見を聞きながらGIGAスクール構想の実現を。
- 学校行事の動画配信をしてほしい。

子どもたちのねがい

- マスク生活で精神面での影響を考慮してほしい。
- コロナ禍でも学校生活を楽しめる工夫を考えてほしい。



総務委員会

開催：11月8日 13時～
丸亀市議会 全員協議会室
市民参加 10名
テーマ：丸亀市の防災



●防災士と一緒に避難経路の危険箇所を確認して歩く、まち歩きのような活動が大切。

●災害情報は自ら積極的に得るものと周知・啓発してほしい。

●避難情報が出ている地域の自治会へ連絡してほしい。

●ホテルや旅館との災害協定をもっと結ぶべき。

●浸水エリアの見直しに伴い、災害協定も見直してほしい。

●まず自分の家の安全性を確認し、地域の災害時の行動計画を作してほしい。防災士会が支援する。

議会報告会・意見交換会が3年ぶりに開催されました。

未だ感染症の収まらない中ではありましたが、本島町在住の皆さん、防災士会の皆さん、教職員や保護者、小中学生代表の皆さんから、たくさんのお話を聞くことができました。

会の中では、「こうした機会を定期的に設けてほしい」「もっとみんなの声を聞いてほしい」との意見も…。

市議会は、これからも市民の意見を十分に聞き、市政に反映させるよう働きかけていきます。

教育民生委員会

開催：11月19日 10時～
丸亀市議会 全員協議会室
市民参加 15名
テーマ：コロナ禍と学校、家庭

教職員のねがい

- ICT支援員の増員を。
- 児童生徒用タブレットを教室のテレビに接続したい。



★1 緑のまちづくり推進

- まちなかに公園が少なく、自由に利用できるかも分からない。
- 道路に鳥のフンが放置されていて、清掃ボランティアも少ない。

★2 観光交流の促進

- 「四国の入り口」としてSNSを活用したPRを！
- 修学旅行を誘致して、丸亀の良さを知ってほしい。

★3 地域コミュニティの活性化

- 自治会に加入するメリットが分からない。
- 子どもの頃は地域でスポーツや祭りをしていて楽しかった。

★4 公共交通の充実と離島振興

- 島の空き家を民泊用に改修して、宿泊学習などに活用しては？
- コミュニティバスは目的地まで乗り継ぎをしないとたどり着けず不便。

意見交換会はどうでしたか？

- ためになった …………… 6
- どちらとも言えない …………… 0
- 良くなかった …………… 0

再度開催するなら…？

- 校内開催なら参加したい …………… 3
- 校外開催でも参加したい …………… 2
- 多分もう行かない …………… 1

四国職業
能力開発
大学 校
11/16(水)



どうする？ どうなる？

特集

2 学生と
考える

未来の丸亀

丸亀市の気になること…今年も学生たちと話し合ってきました！

特集
学生と考える



大手前丸亀
高等学校
11/2(水)

意見交換会はどうでしたか？

- ためになった……………10
- どちらとも言えない……………0
- 良くなかった……………0

再度開催するなら…？

- 校内開催なら参加したい……………4
- 校外開催でも参加したい……………6
- 多分もう行かない……………0

★2市の人口増加を 目指すには？

- 歩きやすい環境や公共交通機関の整備、お店の誘致などで、住みやすいまちにする。
- 田舎ならではの自然美を生かし、農業の魅力を発信する。
- 土、日でも利用できる保育所を開園する。
- 遊具のしっかりした公園を整備する。
- 子育て世帯にベビーグッズを支給する。

★選挙に参加する人を 増やすには？

- 政治に興味がないので、TikTokで市議会の切り抜きなど流す。
- 当日の看板や目印をもっとわかりやすくする。
- 選挙で投票した人に、マルタスのスターバックスの割引券を発行する。
- 投票日に丸亀城でイベントをして、そのままマルタスでの投票に促す。
- 若い保護者に来てもらえるよう、幼稚園や保育所で周知する。

選挙運動の公費負担限度額引き上げに伴い、本市議会議員および市長選挙での公費負担について所要の改正を行う。

▼議案第105号 工事請負変更契約の締結（市立富熊小学校舎長寿命化改修工事）
躯体補強工事の増工や改修箇所を増加による契約金額の変更について、議会の議決を求める（9130万3300円増額）。

▼議案第106号 工事請負変更契約の締結（丸亀城帯曲輪石垣解体等（その2）工事）
土留工の変更や石材揚重工の増工による契約金額の変更について、議会の議決を求める（119万8千円増額）。

▼議案第107号 指定管理者の指定（東小川児童センターほか1施設）
▼議案第108号 指定管理者の指定（塩飽勤番所跡）
▼議案第109号 指定管理者の指定（笠島まち並保存センターほか2施設）

各施設の指定管理者の指定について、議会の議決を求める。
▼議案第110号 山林組合議会議員の選挙
▼議案第111号 一般会計補

正予算（第6号）
歳入歳出それぞれ1億443万円を追加し、総額を569億7503万円とする。

▼議案第112号 訴えの提起
学校給食費の仮執行宣言付支払督促に対する督促異議の申し立てにあたり、訴えの提起があったものとして、議会の議決を求める。

人事案件

まんのう町外三ヶ市町山林組合及びまんのう町外三ヶ市町（七箇地区）山林組合議会議員

垂水町 尾松英二
垂水町 岩井庸明

質疑

学校給食費

Q 大西議員 督促異議の申し立てに至る経緯、経過など、これまで市は、どれだけ本人の意見を聞き、どの程度寄り添ってきたのか。

A 教育部長 催告書の送付や訪問で連絡の取れない

6件を対象として督促の申立てを行ったが、うち1件に関しては、簡易裁判所への異議申し立てがあったことから、民事訴訟法の規定により、自動的に裁判に移行した。裁判では家庭の状況等を把握した上で納付計画等について相談していく。

学校給食のこれから

Q 大西議員 建て替え後の第二学校給食センターに関し、市のビジョンは。

A 教育部長 アレルギー食の対象品目拡大を念頭に、アレルギー室対応調理室の充実を図るとともに、有機食材を含めた地産地消を積極的に推進し、食材の荷受けなどに利用する作業スペースを確保する。また、省エネ設備の導入やSDGsへの取組みに努め、地域の幅広い世代が健康づくりと世代間交流を楽しめる、新しい施設のあり方を検討する。

コミュニティバス利用者支援

Q 中谷議員 2か月間運賃を無料とする本事業には、利用者拡大の目的が織り込まれているか。

また、期間中の定期を購入している利用者への対応は。

A 都市整備部長 主な目的は市民の生活支援だが、

中長期的な視点にたつて、利用促進や持続可能な地域公共交通の構築にも寄与できるよう事業を実施する。また、無料期間の定期券を購入済みの利用者には、期間を延長するなどの措置を講じ、不利益とならないように努める。

不妊治療助成見直し

Q 角野議員 本市では既に保険適用の治療に対し1回一律3万円、保険適用外の治療には1回一律10万円を、年齢に応じて助成しているが、何がどう変わるのか。

A 健康福祉部長 県が保険適用分に対し、1子につき2回まで、1回ごとに上限5万円（治療内容や金額に応じて超過額を加算する場合もあり）の助成を始めるため、既に実施している本市独自の助成に加算し、上限8万円として制度の充実を図る。

一般質問 14人の議員が市の考えを問う

質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

- **真鍋順穂**
① 受益者負担のあり方② 洪水対策③ 持続可能なまちづくり
- **廣田勝也**
① 不法投棄対策② 綾歌森林公園周辺の活用
- **守家英明**
① 不登校・いじめ対策② 地区防災計画③ 離島振興④ 空き家対策
- **東 由美**
① 瀬戸芸2022② 広島地区③ 火災に備える取組み
- **香川 勝**
① 重層的支援事業② 観光施策③ 学び直し
- **横川重行**
① 子どもの健康・学力② 高齢者の閉じこもり対策
- **角野仁美**
① 丸亀ハーフマラソン② 食品ロス③ 母子手帳の電子化
- **福部正人**
① 青い鳥教室② 学校図書館③ ACP④ HPVワクチン
- **渡邊一馬**
① 救急医療② 登園時の事故防止と職場改善③ 在宅介護
- ⑤ 免許返納⑥ イベント情報⑦ ボランティア
- **加藤正員**
① 有機給食② 繰入金③ 重層的支援体制④ パートナーシップ宣言制度
- **内田俊英**
① 動物愛護② 子育て・学校の諸問題③ 一枚二役のレジ袋
- **水本徹雄**
① 令和5年度予算② 終活支援③ 避難時の個別支援④ 物価・燃料費高騰対策⑤ 新市民会館と4街区再編整備
- **中谷真裕美**
① 教員不足② 自衛隊への名簿提供③ 聞こえの支援④ マルタス
- **神田泰孝**
① 带状疱疹ワクチン② 自転車③ 耐震④ 市総合運動公園⑤ アップサイクル

一般質問

市民福祉のために 受益者負担の見直しを



真鍋順穂議員



離島に住む人、働く人にかかせない丸亀港

市長は、学校給食費とコミュニティバス・離島航路運賃の無償化を行おうとしているが、どちらも中・長期を視野に入れた政策的判断か。市民生活の基礎的移動手段である公共交通運賃と、児童・生徒の健全な発達と学校での食育推進を図る学校給食費の保護者負担について、今後の方針は。



A 市長 コミュニティバスや離島航路は、これからの高齢社会を支える移動手段の一つと考え、運賃見直しなど活用促進につながる制度設計に取り組んでいる。また、市内の公立小・中学校に通う児童・生徒の給食費無償化についても、

様々な観点から調査検討している。いずれにしても、社会的課題に的確に対応し、今後も市民が安心して元気に、笑顔で暮らしていけるよう、予算編成作業の中でしっかりと検討内容を取りまとめ、新年度に向けて検討、提案していきたい。

施設管理の一元化で 総合的な活用を

Q



廣田勝也議員



綾歌森林公園内のログハウス

綾歌森林公園、湯舟道、畦田キャンプ場、綾歌総合運動公園の管理運営には、市の3課に加え、2つの指定管理者、1つの管理団体が携わっている。より多くの人に利用してもらうためにも、将来的には全てを一括で管理し総合的に活用することが望ましいと考えるが、市の見解は。



A 市長 綾歌森林公園ほか周辺の公共施設は、コロナ禍の影響を受けながらも、堅調に利用者数を伸ばしているが、綾歌地域にさらなるにぎわいを生み出すためには、各施設が一体となって課題解決や利活用促進等に取り組むことが重要

であり、場合によっては管理運営の一元化など、現状の見直しを検討する必要があると認識している。今後は、綾歌森林公園周辺のエリアに人が集い、地域のにぎわいの核となるよう、最適な管理運営の在り方について検討していく。

いじめ・不登校問題 今後の取組みは

Q



守家英明議員



身近ないじめ 見過ごしていませんか

4月には、こども基本法施行とこども家庭庁の発足が予定されている。本市では、子を持つ親の相談窓口は充実しているが、子どもの相談窓口は学校の先生しかいないのではないかとと思われる。問題解決のためには地域の協力が重要と考えるが、市の方針および学校、地域での今後の対応は。



A 教育長 地域への協力依頼は問題解決を図るうえで大変有効だと考えるが、不登校、いじめ等の問題は非常にデリケートで、個人情報の問題や学校と地域の役割分担など組織や連絡体制を整える必要があるため、まず学校支援ボランティア

アの広がりや推進し、現状の把握や地域と学校の連携強化を図る。また、学校経営説明を行う際、保護者や地域などに問題行動を説明し、生徒指導上の課題、学校の指導方針への理解を得るとともに、協力体制を築いていくよう各学校を支援していく。

財産と命を守る 住宅用火災警報器



東 由美 議員



市のホームページでは消防職員がPR

消防法では、寝室と階段への住宅用火災警報器設置が義務づけられているが、香川県の設置率は全国ワースト2位、その中でも本市は県内ワースト1位である。消防本部は、市のホームページで啓発を行っているが、改めて、火災警報器設置の重要性と今後の取組みについて説明を。



A 消防長 住宅火災の被害状況を分析した結果、住宅用火災警報器が設置されている場合、設置されていない場合に比べ、死者数および焼損床面積は半減、損害額は約4割減少している。本市でも、設置が消

火や避難、救助に功を奏した事例が見られている。一方、死者が発生した住宅火災では、警報器が設置されていない事例がほとんどであり、かつ高齢者世帯で多く見られることから、高齢者世帯を対象とした新たな取組みを、庁内で連携して検討している。

一般質問

生活環境にあわせた 社会人の学び直し



香川 勝 議員



学び直しの機会が得られる環境を

ライフステージに応じてキャリアを選択し、新たなステージが必要となる能力、スキルを身につけるリカレント教育やリスキリングの抜本的拡充が求められていると考えるが、市はどう受け止めているか。また、リカレント教育について、よく同様のものとされている生涯学習との違いを踏まえ、今後の市の施策は。



A 市民生活部長 社会人の学び直しは、個人の豊かな生活や持続可能な社会のために欠かせないものであり、今後ますます重要視されると考えている。また、仕事に生かすための知識やスキルの習得を目指すリカレント教育と、仕事に無関

係なことや生きがいに通じる内容も含む生涯学習では、学ぶ目的が異なると認識している。本市のリカレント教育拡充に向けた施策は、放送大学サテライト教室の設置など一部の取組みにとどまっているため、効果的な施策の検討を始めた。

高齢者の 閉じこもり対策

Q



横川重行議員

高齢者の外出頻度は、さまざまな原因から老化とともに少なくなり、生活空間も屋外や地域から自宅内へと狭くなっていく。本市における高齢者の閉じこもりの傾向と、閉じこもりから脱却するきっかけやその方法は、どのようなものか。



地域の力で早期解決

A

健康福祉部長 令和元年

の調査では、1週間あたりの外出回数がほぼ0〜1回の人
人が16.2%、昨年よりも外出回数
回数が減っている人が23.3%とな
なっている。また、閉じこもりから
りから脱却するきっかけ、方法とし
としては、さまざまな機関や人

がつながることで見守りが行き届き、支援が必要な閉じこもり傾向のある高齢者に早く気づくこと、その人に合った介護予防や健康づくりの情報を提供すること、また、何よりも地域の理解と声かけが重要と考えている。



母子手帳の電子化で 子育て支援を

Q



角野仁美議員

スマートフォンやタブレット端末で利用できる電子母子健康手帳の普及が進んでいる。予防接種や定期健診の予定が通知されるほか、健康診断のデータや発育状況が家庭で共有できるなどの便利な機能が、子育て支援につながっており、導入自治体が増えている。本市での電子母子手帳の導入に関し、市の考えは。



現在配布している母子手帳と母子保健ガイドブック

A

市長 令和5年度には、

母子健康手帳が父親の育児参加の促進や家族の多様性を考慮した内容に一新されるため、既存の子育てアプリから妊娠届出から家族で活用できる電子母子手帳アプリに切り替える予定である。新しいアプリで

は、動画配信やオンライン相談なども可能となり、妊娠期からの切れ目ない伴走型相談支援体制にも活用できることから、不安や悩みの多い乳幼児期の子育て支援につながると考えている。



多彩なイベントを ひろく市内外へ

Q



福部正人議員

市のイベント情報が分かりづらい。例えば、今日あるイベントを調べようとすると、市や美術館、資料館、観光協会、アイレックス、マルタスなど、それぞれのスケジュールを開いて確認しなければならぬ。市内で開催されるイベント情報を一元化し、よりわかりやすく発信してはどうか。



2023年のお城まつりは5月3、4日開催予定です

A 市長 イベント情報の集約は、情報の見つけやすさだけでなく、イベント参加への大きなきっかけづくりとなり、集客や交流人口の増加、さらには地域活性化につながるものと認識している。現在、市では、ホームページのリニューアルを進めており、大規模イベントはもろろんのこと、これまで無数のウェブサイトに埋もれていたユニークな小規模イベントも集約し、多様なニーズに応じた情報の発信を行うことで、本市の活性化にもつなげていきたいと考えている。

を

一般質問

本当に必要な 保育士支援とは

Q



渡邊一馬議員

保育現場でのヒューマンエラーを防ぐためにはハード面だけでなく、保育者が確保できない現状の見直すべきと考えられる。子どもたちの気持ちに寄り添い、小さな異変やSOSを受け止めるべき先生には、気持ちの余裕が必要ではないか。保育職場の環境改善、保育士支援のための、市の取組みは。



現場の環境改善が子どもたちを救います

A 教育部長 私立園に対する保育支援者の配置補助のほか、加配保育士配置への人件費補助や市内私立園への保育士賃金上乘せ補助などに取り組み、保育士の負担軽減を図っている。また、公立園へのフリー保育士や事務補助員の配置を行

うことで、保育士の事務軽減を進めるとともに、11月からは使用済み紙おむつの自園処分を実施するなど、保育士が疲弊せず働きやすい職場環境を整えることで、一人ひとりの子どもと向き合う時間を確保するよう取り組んでいる。

学校給食の充実と有機食材

Q



加藤正員議員

12月7日、県内初の有機野菜を使った学校給食が本市で提供された。以前から、おいしくて安心な有機農産物を子どもたちの給食に導入してほしいと勉強会や署名活動が行われてきた。今回は、約9千人分のみそ汁に大根とニンジンが使用されたが、この目的と今後期待する効果は。



有機野菜を使った学校給食（大根と人参の味噌汁）

A

教育部長 有機食材の使用は、安全・安心でおいしい学校給食の提供に努めるといふ学校給食センターの基本方針に沿う取組みとして、市民に広くアピールできるものと認識している。また、食に関する生きた教材として、食文化の継承

や食材の生産など多面的に学習できる学校給食は、環境問題やSDGsについて学ぶ総合的な学習の時間や、食に関する正しい理解と適切な判断力を学ぶ家庭科など、教科に関連づけた学習にも役立てることができると考えている。

地域で育て見守る 小さないのち

Q



内田俊英議員

さくらねこ無料不妊手術を行う公益財団法人や、ふるさと納税を利用したクラウドファンディングで野良猫の不妊去勢手術を展開している市がある。手術を終えたさくらねこを地域が見守り、育てていくのが理想だが、殺処分ゼロに向け、市はどう動くのか。



耳のさくらカットは不妊手術済みのしるしです

A

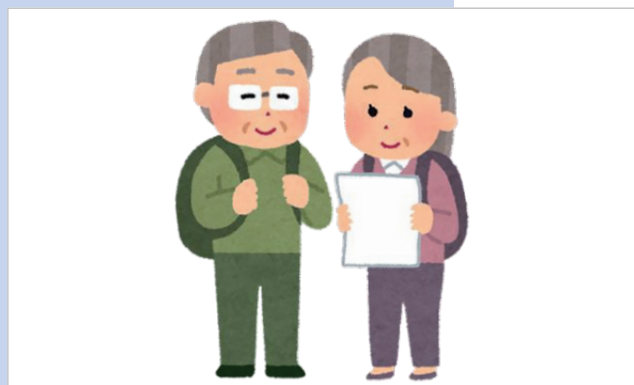
市民生活部長 クラウドファンディングは、野良猫が増加しない環境をつくることにも、その取組みをPRすることでも、広く市民に関心をもってもらおうという効果が期待できる。市が地域猫活動をバックアップしていくためには、活動団

体の発掘や動物病院との連携をはじめ、周辺住民の理解を得るなど、さまざまな課題があるが、資金調達から捕獲、不妊去勢手術、地域に返すという連動した一連の取組みとなるよう、市としてでき得る支援を検討していきたい。

「もしも」に備える エンディングノート



水本徹雄議員



終活は計画を立て、今を自分らしく生きること

Q 現在、日本に住む高齢者のうち19%、およそ630万人が単身世帯となっている。市では、生涯学習センターやマルチスでエンディングノートに関する講座やイベントを開催しているが、終活登録支援などの取組みやエンディングノートの作成・普及を行うことについて、市の考えは。



A

健康福祉部長 終活は、

自分がこれまで歩んできた人生を振り返り、これからの人生を自分らしく、どう生きるか、というライフプランを作るきっかけと認識している。また、本市では、医療や介護の意思表示に関するアドバンス・ケ

ア・プランニングを推進しており、自分が希望する医療、ケアについて、家族や医療ケアチームなど信頼する人たちと事前には話し合い、共有し、その内容や結果を医師会作成のエンディングノートに記録するよう、周知・啓発に努めている。

深刻な教員不足への 対策を



中谷真裕美議員



社会問題化する学校の教員不足

Q 教員不足が社会問題となっている。本市でも、5カ月以上も担任不在、教科担任がない状況があるとお聞きするが、現状はどうかっているか。子ども達の学習を保障し、安心して学校生活が送れるよう、市教委としても市費講師の待遇改善や増員で、必ず講師を確保できる対策を求めます。



A

教育長 教員の配置は県教育委員会が行うが、全

体的に代替教員が不足している。本市では12月現在、教員1名が未配置、3校で常勤講師が見つからず、非常勤講師で対応している。教員の未配置は、子

どもの学習保障への支障、教員への負担増など、喫緊かつ重大な課題であり、今まで以上に県教育委員会と連携し、解消に努める。また、市費講師への待遇・増員についても、適切に対応するよう努める。

施設改善で
安全なスポーツライフを



神田泰孝議員



角度が急で防球フェンスのない観客席

市総合運動公園テニスコートは、建設から40年以上が経過し、防球フェンスのない観客席や飛び込んだボールが取れない垣根、駐車場の段差、道路側の低いフェンスなど、改善を求める利用者の声も少なくない。公園内の利便性と安全性の向上について、市の考えは。



A

市長 飛んできたボールに当たったり、転倒したりする危険性のある観客席は、安全性を検討すべき課題として、施設利用者などと協議し、競技上の観点、利用者の安全確保や利便性、施設管理上の課題などを整理の上、必要な改修を

検討していく。また、駐車場内の段差などへの意見にも同様に、対応を検討していく。公共施設として、利用者の安全性の担保は最も重要であると認識しているため、必要な施設改修を行いながら、良好な運動施設の提供に努めていく。

議会の動き

10・11・12月

10月

- 5日 各派会長会
本会議
全員協議会
広報広聴委員会
- 11日 議会報告会・意見交換会（都市環境委員会）
総務委員会行政視察（～13日まで）
- 17日 都市環境委員会行政視察（～19日まで）
- 19日 教育民生委員会行政視察（～21日まで）
- 26日 議会運営委員会
広報広聴委員会
- 27日 市民会館整備特別委員会行政視察（～28日まで）

11月

- 8日 議会報告会・意見交換会（総務委員会）
市民会館整備特別委員会
- 16日 各派会長会
- 19日 議会報告会・意見交換会（教育民生委員会）
- 21日 議会運営委員会
教育民生委員会協議会

12月

- 1日 本会議
広報広聴委員会
- 5日 本会議
各派会長会
- 6～8日 本会議
- 9日 本会議
広報広聴委員会
- 12日 教育民生委員会
総務委員会
総務委員会協議会
- 13日 都市環境委員会
都市環境委員会協議会
議会運営委員会
市民会館整備特別委員会
- 21日 本会議
都市環境委員会協議会
広報広聴委員会

一般の質問

委員会審査

市長から提案された議案について、委員会ごとに審査しました。

委員会審査

教育民生委員会

■ 審査した議案

議案第94号の関係部分、
95号、105～109号

主な質疑

Q 委員 保育施設等物価高騰対策支援事業給付金の基準は。また、認可外保育所等が対象外なのはなぜか。

A 教育部 公立園での試算に合わせて定員50人以下を最低基準とし、定員数による3段階の設定とした。また、無認可・認可外保育所は、県が支援を検討している。

Q 委員 東小川児童センターほか1施設の指定管理者の指定について、利用者の意見を反映し



東小川児童センター

たサービスの向上がなされているか。

A 健康福祉部 地域ボランティアや指定管理者選定委員会から挙げた意見を踏まえ、指定管理者の長期固定化によるデメリットを改善するよう努める。

審査結果

原案可決。

総務委員会

■ 審査した議案

議案第94号の関係部分、
96～102号、104号

主な質疑

Q 委員 北消防署新訓練塔兼資機材保管庫整備のために購入する国有地の埋蔵文化財の状況は。

A 消防本部 2ヶ所で試掘調査を実施した結果、江戸時代の遺構が出土したため、発掘調査を予定している。

Q 委員 浸水被害調査はどのように行うのか。また、これまでの以上の降雨量への対応は。

A 市長公室 これまでの排水状況や雨水情報、被害状況を総合的に整理し、排水対策を



平成23年の浸水被害

施すべき区域を絞っていく。また、将来的な雨量の増加も考慮しながら、整備目標を立てていく。

Q 委員 売り上げが好調な要因は。

A ポートレース事業局 コロナ禍でオンライン利用が定着したことやCMの効果により、電話投票が堅調に推移していることが大きな要因と分析している。



令和4年12月定例会

賛否が分かれた議案等の審議結果

議員名 (所属会派)	議案番号・議案名 審議結果	議案 第94号
		令和4年度 丸亀市一般 会計補正予 算(第5号)
1 渡邊 一馬 (市民クラブ)		○
2 守家 英明 (市民クラブ)		○
3 角野 仁美 (市民クラブ)		○
4 中谷真裕美 (会派無所属)		×
5 東 由美 (志政会)		○
6 神田 泰孝 (会派無所属)		○
7 水本 徹雄 (会派無所属)		○
8 岡田 剛 (会派無所属)		○
9 廣田 勝也 (志政会)		○
10 武田 孝三 (志政会)		○
11 香川 勝 (志政会)		○
12 川田 匡文 (志政会)		○
13 横川 重行 (市民クラブ)		○
14 加藤 正員 (市民クラブ)		○
15 大西 浩 (市民クラブ)		○
16 竹田 英司 (志政会)		○
17 三宅 真弓 (志政会)		○
18 多田 光廣 (志政会)		◆
19 福部 正人 (公明党)		○
20 内田 俊英 (公明党)		○
21 真鍋 順穂 (志政会)		○
22 横田 隼人 (志政会)		○
23 山本 直久 (志政会)		○
24 大前 誠治 (志政会)		○

○は賛成、×は反対した者です。

◆は議長のため、採決には参加していません。

※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。

討論
【議案第94号に反対】
中谷真裕美
透明化の悪化など多くの指摘をされているPFI方式を選択肢の一つとする第2学校給食センターの建て替えは、議論が十分にされておらず、計画が十分であるため、認められない。

審査結果

原案可決。

都市環境委員会

審査した議案

議案第94号の関係部分、103号

主な質疑

Q 委員 農耕用小型特殊自動車

支援事業の補助金交付にかかる業務委託料の根拠は。

A 産業文化部 コールセンターの設置や申請件数の見込みから積算しているが、委託に際し、極力費用を抑えられるよう努めたい。

Q 委員 速やかな排水対策工事を希望するが、着工および完成の目途は。

A 都市整備部 用地買収の必要があり、着工予定の明示は難しいが、用地交渉と並行して工事に着手できるように努め、台風の時期に間に合うよう職員一丸と

なって取り組む。

Q 委員 離島航路通信運搬費2千万円の積算根拠は。また、予算を超過した際の対応方法は。

A 市民生活部 離島航路3社の令和3年度の運賃収入を合計し、1日当たりの平均金額から、その150%と想定して算出した。予算を上回った場合は、再度補正をお願いしたい。

審査結果

原案可決。



しわく丸

委員会視察

総務委員会

10月
11~13日

西はりま消防組合
大阪府都市競艇企業団
兵庫県加古川市
尼崎市

消防の広域化

住民サービスの向上や経費節減、人員配置の効率化をはかるための広域化ではあるが、広域化後の職員の処遇統一や施設の集約などには長い年月を要するとの説明を受けた。本市でも周辺市町との協議を十分に行い、長期的な視点で今後の消防のあり方を検討すべきと感じた。

ボートレース住之江

他場同様、入場者が減少している様子は見られたが、最寄り駅から場内への道中に出場選手のものぼり旗を設置するなど、周辺への賑わいを感じられる雰囲気があった。また、親子でのスポーツ体験など、これまでの競艇のイメージを一新する仕掛けに取り組みられていると感じた。



スマートシティプロジェクト

BLEタグを活用した見守りサービスは高齢者や子どもの安全を守る施策として有効であり、比較的安価でもあることから導入しやすいと考える。また、デジタル化は目的ではなく、課題解決に必要な人員が足りないことでデジタルを使うのだという姿勢を感じた。

あまがさきアーカイブズ

公文書館整備には市民の理解が必要であり、規模や整備費用、維持管理費など、本市に必要かつ適正なものを見極めてい

都市環境委員会

10月
17~19日

神奈川県小田原市
埼玉県加須市
静岡県小山町

有機農業の推進

有機農業の推進には、販売価格や販路確保などさまざまな課題があるが、実績のある農業者のもとで人材育成を行える環境づくりが必要と感じた。人材確保や消費者の理解の深化など、関係機関等と連携を図り一歩一歩進んでいくことが重要と感じた。

緑のリサイクル事業

加須市のリサイクル率は38.4%と非常に優れた数値となっている。実施する緑のリサイクル事業やプラスチック類の全量資源化は、市内の民間事業者を活用した特徴的な取り組みであった。本市でも職員の意識



公共交通

小山町のデマンドバスは、さまざまな意見はあるものの、利用者の声に耳を傾け、隣市（御殿場市）の病院や高校をバス停に加えるなど、ニーズに応えながら運行している。近年、交通



輻射熱式冷暖房設備

新宿スポーツセンターは東京オリンピックの卓球やバドミントン競技の練習会場として利用が検討された際、風を発生させない冷暖房設備として輻射熱式冷暖房設備を導入した。輻射熱式冷暖房は電気代等が3分の1程度であることや、実際に利

空白地域の対策や高齢者の移動手段の確保など、公共交通への期待は高まつており、「好きな時間に好きな場所へ移動できる」小山町の先進的な取り組みは1

教育民生委員会

10月
19~21日

東京都新宿区
三鷹市
千代田区

つの参考になると感じた。費用対効果や本市地域公共交通計画との整合も図りながら、本市の実情に応じた地域公共交通の取り組みが必要と感じた。

用者からは涼しいとの感想を聞くことができた。本市においても体育館の夏場の暑さ対策として、輻射熱式冷暖房設備導入も一つの方法であると感じた。

重層的支援体制整備事業

三鷹市はアウトリーチ事業を最優先事項とし、先進的に取り組んでいる。モデル地区を作り、生活支援コーディネートセンターを地域福祉コーディネートセンター置き換えるほか、1地区3人態勢の重層的な活動プラットフォーム構築など、現制度をうまく新制度に活用していることに感銘を受けた。

運動部活動の地域移行とこども家庭庁の設置

国が進められており、市も準



穂の国とよはし 芸術劇場 PLAT

多様な人たちの集う場所となるよう、演劇や音楽、ダンスなどをバランスよく精力的に実施している。いつでも気軽に立ち寄れる雰囲気などは、みんなの劇場の方向性とも合致しており、非常に参考になった。事務や作業量は増えても職員は増えず、運営面で苦慮する部分はあるが、職員の言葉からは真の文化への想いを感じることができ、運営面で中心的役割を担う人材の確保も重要であると感じた。

市民会館整備特別委員会

10月
27~28日

愛知県豊橋市
豊田市

備を進める必要がある、運動部活動の地域移行とこども家庭庁の設置について、関係省庁の各担当者から地方公共団体に関す

る事項の説明を受けた。新制度開始に期限が設けられることも想定し、今後、国の動向を正確に捉えていく必要性を感じた。

豊田市民文化会館

豊田市には、市民が幅広く日常的に利用することを想定した市民文化会館のほか、音楽や伝統文化など専門的な利用を想定した豊田市コンサートホール・能楽堂がある。日常的に文化芸術体験などができる「つながりビング」の活用や市内の子どもたちへチケットを届ける「あしながおじさんプロジェクト」など、貸館中心の運営から文化芸術で社会ニーズを満たす運営へと変革することで自らの存在意義を高めていこうとする姿勢が印象に残った。

表紙写真
募集

ご応募ありがとうございました

テーマ

わたしの好きな丸亀

応募
期間

- 5月1日発行号 3月31日まで
- 8月1日発行号 6月30日まで

最終選考で惜しくも選に漏れてしまった作品。
どれも素敵なお写真でした。
次回からも、みなさんぜひご応募ください!



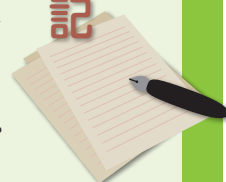
写真とともに住所、氏名、電話番号、撮影の場所・時期を明記した
応募用紙を郵送、メールまたは持参してご応募ください。

〒763-8501 丸亀市大手町二丁目4番21号 丸亀市議会事務局 宛

詳しくはこちら



編集 後記



FIFAワールドカップカタール2022はメッシ擁するアルゼンチンの劇的な勝利で幕を閉じました。我ら日本代表も強豪国相手に果敢にチャレンジし、多くの国民に勇気と感動を与えてくれました。あらためてスポーツの素晴らしさやチームワークの大切さを学びました。

昨年、丸亀市議会では3年ぶりに議会報告会を行い、常任委員会ごとにテーマを決めて意見交換会を開催しました。市民の方々から貴重なご意見を頂き、これからの市政に反映できる実りのある意見交換会となりました。

様々な課題がある中、市政と市民生活の向上に向けて、丸亀市議会も市民と共にサムライブルーのように熱く果敢に挑戦していきます。

広報広聴委員 渡邊 一馬